

平成28年度社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会事業報告

事業の総括

平成28年度は、重点事項として、(1)第1期地域福祉活動計画の推進、(2)介護保険等事業の円滑な運営、(3)法人設立10周年記念社会福祉大会の開催、(4)社会福祉法改正への対応などに取り組みました。

平成29年度につながる主たる事業実績としては、次の事項があげられます。

(1)法人運営関連事業では、平成28年11月25日(金)に、イツカコスモスコモン大ホールにて、700人を超える市内の福祉関係者が一堂に会し、「飯塚市社会福祉協議会設立10周年記念社会福祉大会」を開催しました。記念講演をはじめ、多年にわたり社会福祉事業や共同募金運動に功績のあった1,200名余りの方々に感謝の意を込めて表彰を行い、今後の福祉のまちづくりに向けて決意を新たにしました。

一方、平成28年度も組織運営の強化と財政基盤の再構築を図るため、経費削減と歳入見直しを継続して行いました。また、飯塚市庄内保健福祉総合センターハーモニーについては、指定管理業務の1年目として、住民の健康・福祉の増進を図り、関係団体と協働した地域福祉の拠点として管理運営を行いました。更に、収益事業におきましては、引き続きオートレース場内に自動販売機の設置を行い、飯塚市福祉センター伊川の郷への財源確保として事業に取り組みました。

(2)地域福祉関連事業では、第1期地域福祉活動計画を推進するために、小地域福祉活動計画を地区社協が中心となって策定するにあたり、4か所の地区社協が実施する住民座談会を支援し、計画の骨格づくりに取り組みました。また、社会福祉法改正に伴う社会福祉法人の公益的な取り組みとして、市内36か所の社会福祉法人に呼びかけて勉強会を2回開催しました。

更に、ふれあいいきいきサロン設置箇所数196ヶ所、認知症サポーター養成人数707人となり、福祉委員も651名が見守り活動の第一線で継続的に活動されました。

また、権利擁護センター事業では年間延べ相談件数が3,315件(前年度2,590件)と、この事業の需要の多さがうかがえました。

加えて、社協活動に対する理解を得るため、法人設立10周年記念大会において、地域福祉活動の啓発ビデオを作成し上映しました。

(3)介護保険等関連事業では、平成27年度に実施されました介護報酬のマイナス改定等の影響により、平成28年度においても厳しい経営環境での事業展開となる中、前年度に続きで収入減となりました。このような状況を踏まえ、伊川及び庄内で実施している通所介護事業所を小規模化し地域密着型に移行するなど、事業運営体制の見直しに努めて参りました。一方、障害者総合支援事業部門の報酬改定においては、大きな変動がなかったことから、従来どおり円滑に事業運営を行うことが出来ました。

1. 地域福祉関連事業

(1) 小地域福祉活動

1) 地区社協・地区地域福祉ネットワーク委員会活動との協働(地域福祉活動計画の推進)

小地域福祉活動推進の基盤となる実践として、市内全域をカバーする18ヶ所の地区社協、20ヶ所の地域福祉ネットワーク委員会の活動を日常的に支援しました。具体的な活動としては、ふれあい・いきいきサロン・福祉委員研修・ねんりんバスハイク・ひとり暮らし高齢者会食会・ふれあい電話・長寿弁当・グランドゴルフ大会・男性料理教室・三代ウォーキング等が取り組まれています。更に、平成28年度は小地域福祉活動計画を策定するために、楽市東校区・菰田地区・鎮西地区・二瀬地区にて住民福祉座談会を開催し、各地区の生活課題を見つめ直し解決に向けての糸口を探る座談会を行いました。

2) 福祉委員活動(地区別福祉委員研修会)

市内全域に配置している福祉委員(651名:年間延べ訪問回数51,238回)の活動強化を図るため、地域の要援護者見守りネットワークの中心を担う人材として、市内13カ所で研修会を行いました。

また、平成28年度は改選年度でもあったことから、新任の福祉委員も含めて福祉委員の活動について説明し、役割意識を持っていただきました。主たる参加者は福祉委員ですが、民生委員・自治会長・地域福祉ネットワーク委員会委員・地区社協役員等も参加対象としました。

3) 「ふれあい・いきいきサロン」活動

ひとり暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者等と地域住民（ボランティア等）が、自宅から歩いていける場所に気軽に集い、協働で企画し活動内容を決め、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げる地域の介護予防の拠点としての「ふれあい・いきいきサロン」を継続的に支援しました。現在、市内196カ所で活動が行われています。

なお、「ふれあい・いきいきサロン」の代表者や世話役を対象に、サロン活動の充実・発展に資する情報の提供や交流に主眼を置いた「ふれあい・いきいきサロンお世話人研修会」を2月28日に開催し約250名の参加を得て実施しました。今年度はサロンの目的の一つでもある介護予防の観点から「楽しいレクレーション講座」として、理論と実践を交えた研修会を行いました。

4) 認知症サポーター養成講座

平成22年度より、市から委託を受け厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる10カ年構想」にもとづく全国キャンペーン事業である「認知症サポーター養成講座」を飯塚市からの受託事業として継続して取り組みました。延べ30回の講座を開催し、707人のサポーターを養成しました。(延べ8,184人)

受講団体名	開催日	参加者	受講団体名	開催日	参加者
訪問看護 悠	4/12	10	筑穂あかね塾	8/26	77
飯塚市立図書館	4/25	25	人権ネット 穎田	9/13	30
脳元気教室 幸袋	5/17	13	小規模多機能施設 ひより	9/12	21
かがやき 筑穂	5/18	50	民生委員・福祉委員 筑穂	9/14	54
市民講座	6/18	24	市民講座	9/24	25
脳元気教室 鎮西	6/20	17	飯塚郵便局 局長会	10/12	17
椋本小学校	6/27	53	出雲東自治会	10/12	15
大分駅前団地自治会	6/28	21	うぐいす台自治会	10/13	32
ミレジョブカレッジ ①	7/7	24	脳元気教室 庄内	11/1	12
飯塚薬剤師会 ①	7/12	12	穎田中央団地サロン	11/9	23
穎田病院	7/23	18	ミレジョブカレッジ ②	2/7	10
いずみの森 デイサービス職員	7/26	10	ミレジョブカレッジ ③	2/16	5
脳元気教室 筑穂	8/19	18	くぬぎ苑	2/27	16
男性笑顔のケア	8/20	7	デイサービスゆみ	3/5	31
飯塚薬剤師会 ②	8/22	37			

5) フォローアップ研修

過去に認知症サポーター養成講座を受講した方やキャラバンメイト（サポーターを養成する指導者）の方を対象としたフォローアップ研修にも取り組みました。

対象者	開催日	参加者	講師
キャラバンメイト フォローアップ研修	7/11	20	認知症キッズサポーターの活動の 実際について 小規模多機能ホーム・ グループホームふぁみりー那珂 代表 荻田 哲司 氏
認知症サポーター フォローアップ研修	12/3	16	飯塚市社会福祉協議会 地域課長 岡本政孝

(2) 権利擁護センター事業

権利擁護センターでは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な人を福祉的側面から支援する「日常生活自立支援事業」と、法的な側面から本人の権利を守り生活を支援する「法人後見事業」を行いました。経済的虐待があるケースや家族関係の調整を要するケースも多く、権利擁護センター事業への需要は高まっています。

利用者の推移等

①新規利用者数

〔権利擁護事業〕15人（平成28年度末利用者数：79人）／解約者13人

〔法人後見事業〕2人（平成28年度末利用者数：7人）／終了者0人／類型：後見5人・保佐1人・補助1人

②新規相談者数 37人

③年間延べ相談援助件数 3,315件

④新規生活支援員育成者数

1人（平成28年度末生活支援員数：20人）

⑤運営審議会の開催

4回（4月21日・6月30日・8月18日・2月23日）

(3) ボランティアセンター事業

1) ボランティアに関する相談・紹介等コーディネート業務

個人・団体より相談を受け、**263**件のコーディネートを行いました。

2) ボランティアの養成

①手話奉仕員養成講座（入門課程）

4/13～8/31（通算20回）、飯塚市の委託を受けて飯塚市聴覚障害者協会・飯塚市手話の会の協力により**31**名の受講者を得て開催しました。修了者は**27**名となりました。

②手話奉仕員養成講座（基礎課程）

9/14～2/22（通算22回）、飯塚市の委託を受けて飯塚市聴覚障害者協会・飯塚市手話の会の協力により**32**名の受講者を得て開催しました。修了者は**24**名となりました。

③音声訳ボランティア養成講座

6月の毎週土曜日（通算4回）、目の不自由な方へ各種印刷物や図書などをテープ・CDに吹き込み情報を提供する「音声訳（朗読）ボランティア養成講座」を、ボランティア団体音訳いづかの協力により**13**名の受講者を得て開催しました。修了者は**11**名となりました。

④点訳ボランティア養成講座

2月の毎週土曜日（通算4回）、視覚障がい者の方々に暮らしに関わる情報提供を行う「点訳ボランティア入門講座」を、ボランティア団体キャンドルの協力により7名の受講者を得て開催しました。修了者は**7**名となりました。

⑤ボランティア養成研修

2/2・2/3・2/11・2/22に、これからボランティアをしようとする人やボランティア・福祉の仕事に興味がある人を対象に**109**名の参加者を得て開催しました。施設選びの基本と防災用品についての講話、福岡市民防災センター、福岡市動植物園、鞍手乳児院、嘉麻学園への施設研修を行いました。

3) ボランティア活動保険

保険に関する相談、受付、加入手続き、事故処理、調整を行いました。

ボランティア活動保険（加入者数**3,048**件）

4) 移送支援事業

利用者と運転ボランティアのコーディネート

利用登録者**34**人に対し、運転ボランティア**12**人、

ボランティアセンター職員**2**名年間延べ**246**件の移送支援を行いました。

5) 障がい児・日曜ひろば

①ボランティアの発掘と育成

高校、専門学校、短大、大学を訪問してボランティアの募集を行いました。
学生ボランティア登録者は21名(7校)となりました。

②障がい児・日曜ひろば

障がいのある子ども達の余暇活動の充実及び家族支援を目的として「つどいの広場いづか」にて計9回実施し、年間延べ13名の利用がありました。

※なお、「障がい児・日曜ひろば」は、これを利用する障がいのある子ども達が固定化し、更にはその子たちが余暇活動の範囲が広がったことや新規利用者が増えないことから、この事業は平成28年度をもって終了しました。

6) 障がい児者バスハイク

3/19「太宰府天満宮」を目的地として、障がい児者間の交流やボランティアとの交流を図るバスハイクを総勢39名の参加を得て行いました。

7) 子育て支援事業の実施

子育て分野の事業として当事者同士が顔を合わせられる空間を設ける「子育てサロン・おやつとこっと」を穂波・庄内・飯塚東地区の3か所で開催しました。飯塚東地区社会福祉協議会との共催で、飯塚東公民館にて5月より奇数月の第3木曜日を定例日として、年6回サロンを開催しました。延べ192名の参加を得て地区社協役員や民生委員、主任児童員の方々がお世話人としてサロンに参加していただきました。

(4) 在宅介護支援センター事業

・実態把握訪問年間延べ件数	436件
・来所・その他相談年間延べ件数	340件
・電話相談年間延べ件数	506件
・利用手続代行申請年間延べ件数	36件

(5) その他の地域福祉活動

- ①社協だよりの発行、年3回。
- ②「みんなの健康・福祉のつどい2016」開催(会場:コスモスコモン)。来場者数4,300人。
- ③福祉関係団体への運営費助成及び事業支援。
- ④心配ごと相談所運営。(相談件数31件)
- ⑤福祉用具貸し出し(車いす・松葉杖・歩行器・白杖等)延べ238件。
- ⑥福祉ベル設置3件。
- ⑦共同募金運動への協力。

(6) 支所地域福祉推進事業報告・・・別記のとおり

・飯塚支所	・・・	7ページ
・穂波支所	・・・	8ページ
・筑穂支所	・・・	10ページ
・庄内支所	・・・	11ページ
・穎田支所	・・・	13ページ

2. 介護保険等事業活動

(1) 介護保険事業

①居宅介護支援事業

・ケアプラン作成・管理年間延べ件数	4,553件
[飯塚支所]	2,144件
[穂波支所]	2,409件

②介護予防居宅介護支援事業

- ・予防プラン作成・管理年間延べ件数 810件
[飯塚支所] 422件 [穂波支所] 388件

③訪問介護事業

- ・年間延べ派遣回数 15,434回
[飯塚支所] 10,106回 [穂波支所] 5,328回

④介護予防訪問介護事業

- ・年間延べ派遣回数 15,836回
[飯塚支所] 9,849回 [穂波支所] 5,987回

⑤通所介護事業

- ・年間延べ利用者数 12,944人
[飯塚] 2,347人 [庄内] 2,310人 [筑穂] 8,287人

⑥介護予防通所介護事業

- ・年間延べ利用者数 5,211人
[飯塚] 801人 [庄内] 1,537人 [筑穂] 2,873人

⑦小規模生活単位型介護老人福祉施設【筑穂桜の園】

- ・入所定員 30人

⑧短期入所生活介護事業【筑穂桜の園】

- ・年間延べ利用人数 448人

(2) 地域支援事業

①筑穂地域包括支援センター

- ・総合相談年間延べ件数 182件
- ・包括的・継続的ケアマネジメント年間支援回数 68回
- ・介護予防サービス年間実績件数 1,981件
- ・福祉サービス代行申請年間延べ件数 45件
- ・運営推進会議年間延べ参加回数 13回

②生きがい活動支援通所事業

- ・年間延べ利用者数 794人
[飯塚] 271人 [庄内] 182人 [筑穂] 341人

③食の自立支援事業（配食サービス）【筑穂】

- ・年間延べ配食数 9,326食

④高齢者住宅等安心確保住宅（シルバーハウジング生活支援員派遣事業）

- ・30戸の入居者があり、生活援助員がお世話をしています。

(3) 高齢者ホームヘルプ事業

- ・年間延べ派遣回数 1,060回
[飯塚支所] 481回 [穂波支所] 579回

(4) 障害福祉サービス事業

①居宅介護事業

- ・年間延べ派遣回数 5,822回
[飯塚支所] 3,684回 [穂波支所] 2,138回

②児童デイサービス【筑穂】

- ・年間延べ派遣回数 1,858人

③障がい者支援センター【筑穂】

- ・年間延べ利用者数 1,453人（生活介護 1,120人、生活訓練 333人）

(5) 地域生活支援事業

移動支援事業

- ・年間延べ派遣回数 32回 [飯塚支所] 7回 [穂波支所] 25回

(6) 制度外サービス事業

介護保険制度、障害者総合支援制度、地域支援事業等の制度を補完するサービスとして本会が独自に実施している事業で支援内容としては、介護保険制度では対応できない通院介助時の病院等での待機時間、家族不在時の見守り、外出介助等です。

- ・年間延べ派遣回数 414回
[飯塚支所] 329回 [穂波支所] 85回

3. 法人運営関連事業

(1) 飯塚市庄内保健福祉総合センターハーモニーの管理運営

平成28年度より飯塚市との協定書に基づき、指定管理者として住民の健康・福祉の増進を図り、関係団体と協働した地域福祉の拠点として管理運営を行いました。

- ・入浴利用者年間延べ利用者数 42,990人
- ・健康運動室年間延べ利用者数 11,077人
- ・会議室等年間延べ利用者数 36,855人

(2) 筑穂保健福祉総合センターの管理運営

飯塚市との協定書に基づき、住民の健康増進と福祉の拠点として管理運営を行いました。

- ・健康運動室年間延べ利用者数 7,838人
- ・会議室年間延べ利用回数 479回

(3) 飯塚市福祉センター伊川の郷の運営

平成28年度における年間利用者数は7,822人で、平成27年度(7,814人)とほぼ変わらない状況でしたが、一方で65歳以上高齢者の利用者は113人(約1.5%)の増加がみられました。

なお、飯塚市の受託事業であるシルバー陶芸教室は、介護予防の観点のもと、市内に居住する高齢者を対象に陶芸体験の場を提供いたしました。

- ・飯塚市福祉センター伊川の郷年間延べ来館者数 7,822人(51.4人/日)
- ・シルバー陶芸教室年間延べ利用者数1,148人(95.8人/月)

(4) 生活福祉資金貸付事業

県社協からの事務委託を受けている事業で、年間延べ相談件数610件、年間延べ調整回数194回、年間延べ申込み件数72件、年間延べ決定件数71件・不承認0件(県社協が貸付けの可否)、申込辞退1件となっています。

(5) 筑豊地区福祉人材バンク

県社協からの事務委託を受けている事業で、新規求人数706人、新規求職者数49人、インターネットアクセス数2,937件、応募・紹介者数46人、就職人数11人、求人求職相談件数343件となっています。

(6) 飯塚市小型自動車競走場自動販売機の設置事業

自動販売機21台の設置を行い、飯塚市福祉センター伊川の郷の運営費に係る財源確保に努めました。

(7) 有料広告の掲載

平成21年度より財源確保策として実施している有料広告の掲載に平成28年度も取り組みました。

- ①社協だより有料広告 96,000円(4件)
- ②社協公用車有料広告 240,000円(4件:4台)

(8) 不用入れ歯回収事業

平成20年度より財源確保策として実施している、「不用入れ歯回収事業」は、市本庁、市社協本所支所、地区公民館の計14か所に回収ボックスを設置し平成28年度も取り組みました。

不用入れ歯回収実績額 6,198円

◎飯塚支所 地域福祉推進事業報告

1. 高齢者福祉活動の推進

(1) 赤い羽根ねんりんバスハイク・一人暮らし高齢者会食会

9地区社協で、一人暮らし高齢者、高齢者世帯の方々を対象に行うバスハイクもしくは高齢者と地区社協関係者との会食会を通じて、地域交流や社会参加や仲間づくりにつなげていくことを目的とした一人暮らし高齢者会食会を支援しました。

(2) 赤い羽根ふれあい給食サービスの実施

7地区社協で、一人暮らし高齢者を対象に行う配食サービスを支援しました。

(3) 在宅介護者の会「つくしの会」活動の支援

在宅で寝たきりの方や認知症高齢者を抱える介護者の会の活動（毎月開かれる定例会・研修会・リフレッシュ行事等）に参加し、助言や支援等を行いました。

2. 障がい者福祉活動の推進

(1) 飯塚国際車いすテニス大会の支援

国内外の身体障がい者間のスポーツの交流や相互理解等を目的とした車いすテニス大会に対して活動費助成や大会出場選手に対する送迎車輛の貸し出等の支援を行いました。

(2) さわやかスポーツ大会

飯塚市が主催するさわやかスポーツ大会の実行委員として参画し、大会運営を支援しました。

3. 児童・青少年福祉活動の推進

福祉体験や総合学習の支援

児童・生徒を対象に、障がい者や高齢者への正しい理解と知識を深める事を目的として、手話や点字、車いすの操作や認知症の理解、障がい者との交流等、福祉教育の充実を図るため、市内の小中学校と協働して支援を行いました。

また、今年度より、小地域福祉活動のきっかけとなる取組として、小中学校区を単位に学校が主体となり、地域住民だれもが参加出来る世代間交流事業等の推進及び拡充していくことを目的に助成等の支援を行いました。

4. 地域福祉活動の推進

(1) ふれあい・いきいきサロン活動の支援と推進

単一自治会を単位として、見守りが必要なおおむね65歳以上の方々を対象に、ボランティアや民生委員、福祉委員、自治会長を中心に1～2ヶ月に1回程度実施しているサロン開催のために、さまざまな趣味や特技や資格をもったボランティアに「特技ボランティア」として登録してもらい、紹介するなどの支援を行いました。

(2) 地区ふれあい福祉相談センターの設置推進

地区社協によっては、地域において見守りが必要な一人暮らし高齢者、高齢者夫婦の方々を対象にした「ふれあい電話相談」の活動を推進しました。

(3) 地域ふれあい活動事業の実施

地域によって異なりますが、地区社協を基盤として、親子球技大会、グラウンドゴルフ、ウォークラリー大会、どんど焼き祭り等の活動が実施されており、その支援を行いました。

(4) 福祉委員の設置推進

福祉委員を配置し、見守りが必要な一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯、障がい児者等の訪問活動を支援しました。

- (5) 福祉委員研修会の開催
昨年度末が任期満了に伴う改選期であったため、今年度は改めて福祉委員としての基本的活動内容等についての研修会を開催しました。
- (6) 地区社協・地域福祉ネットワーク委員会との連携強化
9地区社協で毎月開催されるネットワーク委員会に参加し、連絡調整並びに事業推進の支援を行いました。
- (7) 民生委員・児童委員協議会との連携
9地区で毎月開催される民生委員・児童委員協議会の会議に出席し、地域の要援護者ケースに係る検討会へ参画しました。

5. ボランティア活動の推進

- (1) 点訳ボランティア入門講座の開催
点訳ボランティア「キャンドル」に講師を依頼し、点訳ボランティア活動に関心があり、4回の講座にすべて出席可能な人を対象に、2月6日から2月27日までの毎週土曜日に開催しました。
- (2) 音訳（朗読）ボランティア養成講座の開催
音訳ボランティア「音訳いづか」に講師を依頼し、音訳（朗読）ボランティア活動に関心があり、4回の講座すべてに出席可能な人を対象に、6月4日から6月25日までの毎週土曜日に開催しました。
- (3) ボランティア団体の育成及び連絡協議会への支援

6. その他の活動の推進

- (1) 日常生活自立支援事業の推進
支所コミュニティワーカー（福祉活動専門員）が、本所権利擁護センター専門員と生活支援員との業務連携を図る役割を担う推進員として、判断能力が不十分な利用者の生活を支援しました。
- (2) 共同募金運動への協力
自治会・民協・地区社協・行政との連携のもと、街頭募金、法人募金、戸別募金等に協力しました。
- (3) 心配ごと相談の実施
月1回、民生委員や人権擁護委員である相談員の協力を得て、心配ごと相談所を開設しました。

7. 各地区まちづくり協議会への参画

各地区地域コミュニティの構築と活性化に向けて設立された「まちづくり運営協議会」に、協力団体として、年間数回会議に出席し、組織運営・事業内容の打ち合わせや地域課題とその解決策についてなどの協議に参画しました。

◎穂波支所 地域福祉推進事業報告

1. 高齢者福祉活動の推進

- (1) 在宅介護者の会「かたらい」の活動支援
毎月第3木曜日に会員のリフレッシュを目的として開催しています。情報交換をはじめ、施設見学や講演会参加も行いました。その他にも他地区の介護者との交流も行いました。
- (2) 一人暮らし緊急入院「安心箱」の推進
利用件数 5件
- (3) 福祉ベル
設置件数 3件

2. 障がい者福祉活動の推進

- (1) 社協情報テレホンサービス提供
音訳ボランティア「穂声」に毎週いろいろな情報をテープに吹き込んでもらい、月曜日または火曜日にテープの入れ替え作業を行い、フリーダイヤルで視覚障がい者の方々に聞いてもらえるよう実施しました。

(2) 市報等のテープ吹き込み配布事業（音訳）

ボランティア団体「穂声」が吹き込みを行った社協だよりのテープを、「音訳いづか」がダビングして発送しました。公民館報や支所だよりの、その他の情報テープの吹き込み・ダビング・発送の一連の作業を、「穂声」に担っていただきました。

3. 児童青少年福祉活動の推進

(1) 春休み福祉体験校の開催

春休み期間中の3月30日に開催し、参加児童は20人でした。今回は「家族・生活」をテーマに開催しました。午前中に博多食の博物館「ハクハク」へ行き博多の文化「祭り・食・工芸」の学習や家族で食べることを思いながら「明太子作り」の体験を行いました。

午後からは、「クリーンパーク臨界工場」へ行き「3R」という、リサイクルの仕組みについて学びました。また、生活の中から出るたくさんのゴミが焼却される行程で資源（発電し電気へ）になる事なども学習しました。

(2) 社会福祉推進校事業の推進

穂波支所管内の各小学校と連携して当事者の方の講話や車いす体験、アイマスク体験、手話や点字の講習、各種障がい当事者による講演、高齢者疑似体験、環境福祉などについて行いました。授業回数は合計で22回程であり、1回の授業時間は内容にもよりますが1時間から3時間でした。

(3) 子育て広場の開催

子育て支援として同じ世代のお子さんを持つ親同士の友達作りの場と、子供の出すいろいろなサインを見逃さないための子供とのスキンシップの取り方などを学ぶという2つの目的をもって開催しました。3ヶ月ごとのクールで平均15組の参加がありました。

4. 地域福祉活動の推進

(1) ふれあい・いきいきサロン活動への支援と推進

会場である自治会公民館等のサロンに出向き、講話やビデオ上映会、レクリエーションなどを行ったり、サロン特技ボランティアやその他の講師の派遣調整を行いました。

(2) 校区社協活動の支援

各校区社協への活動費の助成や各事業の支援を行いました。

(3) 福祉委員活動推進と強化

毎月第3火曜日に定例会を開催し、情報交換や研修会を行いました。

(4) 自治会長会との連携

年間5回出席し、赤い羽根共同募金や賛助費、各事業への協力依頼を行いました。

(5) 民生委員・児童委員協議会との連携

毎月の定例会へ参加し、各事業実施のための調査や調整、配布物の依頼等を行いました。

(6) 地域福祉講座

楽しく学んで！楽しく脳トレ！「ふれあいマーじゃん教え方講座」と題し、mottoひょうご事務局長の栗木剛さんを迎え、地域のサロンで活躍していただけるよう実践を交えた講義を開催しました。参加者 20名

5. ボランティア活動の推進

(1) ボランティア等連絡協議会との連携

毎月の定例会に参加しボラ連主催行事（ボランティア交流会・We Love 穂波川）の活動を支援しました。

(2) 音訳講習会の開催

7月5日・12日・19日・8月26日に開催し、受講者は2人でした。

(3) 点訳講習会の開催

3月4日・11日・18日・25日に開催し、受講者は8人でした。

6. その他の活動の推進

- (1) 穂波地区福祉活動の財源確保として、賛助会費の依頼を自治会を通じて全戸に協力依頼しました。
- (2) 日常生活自立支援事業の推進
支所コミュニティワーカー（福祉活動専門員）が、本所権利擁護センター専門員と生活支援員との業務連携を図る役割を担う推進員として判断能力が不十分な利用者41名の生活を支援しました。
- (3) 共同募金運動への協力
自治会・民協・地区社協・行政との連携のもと、街頭募金、法人募金、戸別募金等に協力しました。
- (4) 心配ごと相談の実施
月1回、民生委員や人権擁護委員である相談員の協力を得て、心配ごと相談所を開設しました。
- (5) 支所だよりの発行
年間4回（5月15日、8月15日、10月15日、1月15日）発行しました。

7. 穂波地区まちづくり協議会への参画

穂波地区地域コミュニティの構築と活性化に向けた取り組みとして、穂波公民館の働きかけにより設立された校区まちづくり運営協議会に協力団体として出席し、組織運営・事業内容の打ち合わせや地域課題とその解決策についてなどの協議に参画しました。

◎筑穂支所 地域福祉推進事業報告

1. 高齢者福祉活動の推進

- (1) ひまわり友の会（一人暮らし高齢者会食会）の開催
民生委員に調査を依頼し、75歳以上の一人暮らしの方を対象に、会食会を開催し、延べ111名の参加がありました。
- (2) 在宅介護者の会『桜の会』の開催
在宅で寝たきりや認知症などの家族を介護している方の交流の場を、年12回、延べ88人の参加を得て開催しました。
- (3) 「あんしん携帯カード」と「ふれあい・ほっとライン」の普及
民生委員の協力を得て、75歳以上の一人暮らし高齢者を基本として、緊急連絡先やかかりつけの病院等を記載した「あんしん携帯カード」と、安心・安全のために自宅の電話機の周辺等に掲示する「ふれあい・ほっとライン」を533人の方に配布しました。

2. 障がい者福祉活動の推進

おもちゃ図書館の運営

当事者および家族等からの利用申し込みにより随時開館し、年間延べ利用者131人の利用がありました。

3. 地域福祉活動の推進

- (1) ふれあい・いきいきサロン活動の支援と推進
27自治会で年間延べ開催回数340回、年間延べ参加者数6,155人となりました。
- (2) 介護予防講座として、脳トレーニングの一環である「ふれあいマーじゃん」を行いました。開催回数24回、延べ参加人数361人でした。
- (3) いきいきサロンボランティア「にこにこリズム体操」指導員研修会
いきいきサロンでの介護予防メニューの普及を支援する「にこにこリズム体操」指導員の方々(27名)に集まっただき、毎月第3金曜日にスキルアップ研修を行いました。
- (4) ふれあいフェスタの開催
福祉の啓発活動を目的として広く一般の方に福祉を理解していただくために、各種福祉団体から実行委員を選出していただき、実行委員会方式で開催しました。
開催日時 平成28年11月20日（日） 会場 筑穂保健福祉総合センター
内容 人形劇公演・各福祉団体による模擬店

- (5) 自治会長会との連携
自治会長会議に年間 12 回出席し、賛助会費依頼、共同募金への協力依頼、校区社協・ネットワーク委員会・福祉委員制度についての説明や協力依頼等を行いました。
- (6) 民生委員・児童委員協議会との連携
毎月開催される民生委員・児童委員協議会へ参加し、「在宅介護者のつどい」や「ひまわり友の会」等の実施案内、福祉委員活動への協力依頼等を行いました。
- (7) 地区社協・3校区地域福祉ネットワーク委員会の支援
筑穂地区社会福祉協議会、大分・上穂波・内野校区地域福祉ネットワーク委員会の運営を支援しました。
- (8) 福祉委員連絡会の開催
活動の交流や意見交換、研修等からなる連絡会を、年3回（参加者78人）開催しました。

4. ボランティア活動の推進

- (1) ボランティア連絡協議会との連携
8月7日、地元の特養「本陣園」の夏祭りにボラ連として15人が参加しました。
- (2) ふれあい電話の実施
毎週水曜と木曜に、一人暮らし高齢者等に対して電話による訪問活動を行うボランティアグループの活動を支援しました。

5. その他の活動推進

- (1) 福祉活動賛助会費
筑穂地区福祉活動の財源確保として、賛助会費の依頼を自治会を通じて全戸に協力依頼しました。
- (2) 日常生活自立支援事業の推進
支所コミュニティワーカー（福祉活動専門員）が、本所権利擁護センター専門員と生活支援員との業務連携を図る役割を担う推進員として、判断能力が不十分な利用者9人の生活を支援しました。
- (3) 共同募金運動への協力
自治会・民協・地区社協・行政との連携のもと、街頭募金、法人募金、戸別募金等に協力しました。
- (4) 心配ごと相談の実施
月1回、民生委員や人権擁護委員である相談員の協力を得て、心配ごと相談所を開設しました。

6. 筑穂地区まちづくり協議会への参画

筑穂地区地域コミュニティの構築と活性化に向けた取組みとして、筑穂地区まちづくり協議会の各種会議（役員会、事務局会議、全体会議、部会、課題検討会）に出席し、組織運営・事業の実施や手順等についての打ち合わせや地域課題とその解決策についての協議を行いました。

◎庄内支所 地域福祉推進事業報告

1. 高齢者福祉活動の推進

- (1) 一人暮らし高齢者交流会の開催
5月23日、民生委員に協力を依頼し、70歳以上の一人暮らしの方56人の参加を得、協力関係者を含め総勢119人で交流会を実施しました。
- (2) 三世代交流会「高齢者と中学生交流会」の開催
9月18日、民生委員に協力を依頼し、70歳以上の一人暮らしの方24人の参加を得、協力関係者を含め総勢114人で交流会を実施しました。
- (3) 三世代交流会「高齢者と小学生交流会」
3月10日、民生委員に協力を依頼し、70歳以上の一人暮らしの方55名の参加を得、協力関係者を含め総勢190人で交流会を実施しました。

2. 障がい者福祉活動の推進

庄内地区障がい者バスハイク

9月11日、「ラピュタファーム」へぶどう狩りを目的地として、総勢24名の参加者を得てバスハイクを実施しました。

3. 児童・青少年福祉活動の推進

(1) 福祉体験事業

6月7日、庄内小学校4年生を対象に福祉体験（車いす、アイマスク）授業を行いました。

(2) 子育てサロン

隣組回覧で周知し、年2回（7月・3月）実施しました。

7月は、参加者56人、協力関係者含め総勢64人で実施しました。

3月は、参加者45人、協力関係者含め総勢58人で実施しました。

(3) 親子料理教室

12月17日、隣組回覧により周知し参加者8人、協力関係者含め総勢11人で保護者と一緒に参加できる小学生を対象とした料理教室を実施しました。

4. 地域福祉活動の推進

(1) 自治会長会との連携

共同募金、一人暮らし高齢者交流会・三世代交流会実施への協力依頼などを行いました。

(2) 民生委員・児童委員協議会との連携

3役会、定例会に出席し、一人暮らし高齢者交流会・三世代交流会の参加者取りまとめ依頼、各種事業への参加要請、福祉委員活動についての連絡、詐欺などの被害防止等の注意喚起の協力依頼などを行いました。

(3) 小地域福祉活動の推進

①福祉委員研修会を年2回（6月・10月：地区社協運営委員会、地域福祉ネットワーク委員会、自治会長、民生委員、福祉委員との合同研修）実施しました。

②ふれあい・いきいきサロンの運営に対し、サロンの実施内容やバスハイク等の実施に向けての助言を行いました。（平成28年度末現在、18自治会で実施。）

(4) 地区社協・地区地域福祉ネットワーク委員会の支援

地区社協、地区地域福祉ネットワーク委員会の運営を支援しました。

5. ボランティア連絡協議会の活動支援

定例会や研修会などに参加し、活動支援を行いました。

6. その他の活動の推進

(1) 日常生活自立支援事業の推進

支所コミュニティーワーカー（福祉活動専門員）が、本所権利擁護センター専門員と生活支援員との業務連携を図る役割を担う推進員として判断能力が不十分な利用者6人の生活を支援しました。

(2) 共同募金運動への協力

自治会・民協・地区社協・行政との連携のもと、街頭募金、法人募金、戸別募金等に協力しました。

(3) 心配ごと相談の実施

月1回、民生委員、人権擁護委員、行政相談委員である相談員の協力を得て、心配ごと相談所を開設しました。

(4) 支所だよりの発行

年間2回（9月15日、3月15日）発行しました。

(5) レクリエーション遊具（用具）の貸し出し

庄内地域の介護予防、子供たちとのコミュニケーションづくり等に貢献するため、貸し出し、利用方法の指導協力を行いました。（42件：施設、子供会等）

- (6) ボランティア研修会
8月24日、「ふくおか県政出前講座：食中毒を防ぐため」の研修を実施し、26名の参加がありました。
- (7) 男性料理教室
12月9日、隣組回覧により周知、民生委員に協力依頼し参加者17人、協力関係者を含め総勢29人で料理教室を実施しました。
- (8) 「いづかオータムフェスタ2016ふれ愛庄内」への参加協力
11月14、15日、庄内ハーモニーで開催された「ふれ愛庄内」において、庄内地区社協・庄内ボラ連のブースの運営に参加・協力しました。

◎ 穎田支所 地域福祉推進事業報告

1. 高齢者福祉活動の推進

- (1) 給食サービスの支援
給食サービスボランティア「つくし会」、民生委員会穎田支部、穎田地区社協が行っている給食サービス（対象者：80歳以上の一人暮らし高齢者）を支援しました。
(毎月第3木曜日(年12回)、年間延べ773食)
- (2) 高齢者とボランティアの集いの開催
訪問ボランティア「さつき会」と協力して、6月22日に中央団地3地区で会食会を実施しました。(参加者23人)

2. 障がい者福祉活動の推進

- 手をつなぐ親の会活動の支援
手をつなぐ親の会穎田支部の活動を支援しました。
(会員21人、定例会：1回/2か月)

3. 児童・青少年福祉活動の推進

- (1) 穎田子どもまなび塾にて車いすや高齢者疑似体験を実施しました。
平成29年6月18日、大人4人、子ども20名参加
- (2) 穎田地区社協主催の世代間交流グラウンドゴルフ大会を支援しました。
5月21日、大人46名・子供29名参加。

4. 地域福祉活動の推進

- (1) 自治会長会との連携
自治会長会議に年2回出席し、小地域福祉活動への理解を求めました。
- (2) 民生委員・児童委員協議会との連携
毎月第2水曜日に開催される定例会に出席し、福祉活動について連携を図りました。
- (3) 地区社会福祉協議会、地区地域福祉ネットワーク委員会の支援
地区社協、地域福祉ネットワーク委員会の運営を支援しました。
 - ①地区社協と地区地域福祉ネットワーク委員会の総会と、合同会議を年12回開催しました。
 - ②11月10日、地区社協運営委員と地区地域福祉ネットワーク委員会委員の視察研修（目的地：福津市）を、12人の参加を得て行いました。
 - ③2月25日、地区社協と地区地域福祉ネットワーク委員会の全体研修会を、73人の参加を得て開催しました。
 - ④穎田高齢者福祉センターの管理、運営を行いました。(入館者：年間6,175人)

5. ボランティア活動の推進

- 訪問ボランティア「さつき会」活動の支援
毎月1回定例会に出席し、ケース検討など活動の支援を行いました。

6. その他の活動の推進

(1) 日常生活自立支援事業の推進

支所コミュニティワーカー（福祉活動専門員）が、本所権利擁護センター専門員と生活支援員との業務連携を図る役割を担う推進員として、判断能力が不十分な利用者6人の生活を支援しました。

(2) 共同募金運動への協力

自治会・民協・地区社協・行政との連携のもと、街頭募金、法人募金、戸別募金等に協力しました。

(3) 心配ごと相談の実施

月1回、民生委員や人権擁護委員である相談員の協力を得て、心配ごと相談所を開設しました。

(4) 支所だよりの発行

年間4回（4月15日、7月15日、10月15日、1月15日）発行しました。

4. 会議、研修会

本会が開催した各種会議・研修会について報告します。

(1) 理事会 (第59回～第64回)

回	開催日時	議 題
1	平成28年5月27日 10時00分	1 定款の変更について 2 定款施行細則の変更について 3 欠員評議員の選任について 4 業務担当委員会規程の改正について 5 学識経験者選考委員会規程の改正について 6 平成27年度社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会事業報告について 7 平成27年度社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支及び収益事業資金収支決算について
2	平成28年7月1日 10時00分	1 会長の選任について 2 副会長2名の選任について 3 常務理事の指名について 4 評議員の選任について 5 飯塚市社会福祉協議会設立10周年記念社会福祉大会開催要項について 6 社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会表彰規程の制定について
3	平成28年8月26日 16時00分	1 業務担当委員会委員の選任について
4	平成29年2月10日 13時30分	1 社会福祉法人制度改革に伴う定款等の改正について 2 評議員選任・解任委員会運営細則(案)について 3 評議員・役員選出規程(案)について
5	平成29年2月28日 13時30分	1 評議員選任・解任委員会委員の選任について 2 次期評議員選任候補者の推薦について
6	平成29年3月28日 13時30分	1 平成28年度社会福祉事業・収益事業資金収支補正予算(案)について 2 平成29年度事業計画(案)について 3 平成29年度社会福祉事業・収益事業資金収支予算(案)について 4 定款施行細則の廃止について 5 評議員の費用弁償等に関する規程の整備について 6 役員等の報酬等に関する規程の整備について
		7 経理規程の改正について 8 積立金規程の改正について 9 育児休業規程の改正について 10 介護休業規程の改正について

(2) 評議員会 (第35回～第38回)

回	開催日時	議 題
1	平成28年5月30日 10時00分	1 定款の変更について 2 定款施行細則の変更について 3 欠員理事の選任について

		4 平成27年度社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会事業報告について 5 平成27年度社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支及び収益事業資金収支決算について
2	平成28年6月29日 15時00分	1 理事・監事の選任について
3	平成29年2月14日 13時30分	1 社会福祉法人制度改革に伴う定款の変更について
4	平成29年3月30日 13時30分	1 平成28年度社会福祉事業・収益事業資金収支補正予算（案）について 2 平成29年度事業計画（案）について 3 平成29年度社会福祉事業・収益事業資金収支予算（案）について 4 定款施行細則の廃止について 5 評議員の費用弁償等に関する規程の整備について 6 役員等の報酬等に関する規程の整備について

(3) 評議員選任・解任委員会

回	開催日時	議題
1	平成29年2月28日 15時00分	1 委員長の選任について 2 次期評議員候補者の選任について

(4) 法人運営委員会

回	開催日時	議 題
1	平成28年6月22日 10時00分	1 飯塚市社会福祉協議会設立10周年記念社会福祉大会の開催要領について 2 社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会表彰規程について
2	平成29年2月2日 13時30分	1 社会福祉法人制度改革に伴う定款等の改正について 2 評議員選任・解任委員会運営細則（案）について

(5) 飯塚市社会福祉協議会設立10周年記念社会福祉大会 表彰審査委員会

回	開催日時	議 題
1	平成28年9月29日 13時30分	1 委員長の選任について 2 飯塚市社協社会福祉事業功労者表彰並びに感謝の選考について
2	平成28年10月14日 13時30分	1 飯塚市社協社会福祉事業功労者表彰並びに感謝の選考について 2 福岡県共同募金会飯塚市支会支会長表彰並びに感謝の選考について

(6) 飯塚市社会福祉協議会設立10周年記念社会福祉大会 運営委員会

回	開催日時	議題
1	平成28年10月21日 13時30分	1 被表彰者について 2 大会宣言について

(7) コミュニティワーカー会議

回	開催日時	議 題
1	平成28年4月4日 15時30分	1 平成28年度事業計画について 2 地域課事業担当割について 3 住民参加型福祉サービス（給食サービス）について 4 日常生活自立支援事業（業務システムについて） 5 小中学校を対象とした手話講座（聴覚障害者協会との関係）について
2	平成28年5月22日 13時30分	1 熊本地震に伴う飯塚市社協の対応について 2 「みんなの健康・福祉のつどい」について 3 住民座談会の方法について
3	平成28年8月17日 15時	1 障害者差別解消法について 2 社会福祉法人制度改革について 3 「みんなの健康・福祉のつどい」について 4 設立10周年記念社会福祉大会について 5 生活支援コーディネーターについて 6 権利擁護センターについて 7 業務内容調査について 8 中山間応援サポーターについて 9 筑豊ブロック市町村社協連絡協議会エリア研修について

(8) 介護保険事業別会議

1) 居宅介護支援事業管理者会議

回	開催日時	議題
1	平成28年4月12日 9時	1 平成28年度事業計画書について 2 平成28年度の方針について 3 総務からの連絡事項について 4 各事業所からの報告について
2	平成28年5月12日 9時	1 集団指導について 2 平成28年度の介護支援専門員更新研修について 3 内部研修について 4 平成28年度決算について 5 各事業所からの報告事項について
3	平成28年6月14日 9時	1 役員改選について 2 交通事故について 3 一時金について 4 総合事業移行について 5 事業所からの報告事項について
4	平成28年7月12日 9時	1 事業所からの報告・居宅サービス事業の改善について 2 人権同和研修について 3 総合事業の説明会について 4 役員改選について 5 デイサービスについて
5	平成28年9月13日 9時	1 固定資産調査の協力依頼について 2 飯塚市部落解放研究集会の参加要請について 3 振替休日（時間）取得手続きの統一について

		<ul style="list-style-type: none"> 4 職員募集について 5 認知症の損害賠償問題について 6 安全運転講習会について 7 事業所からの報告事項等について
6	平成28年10月12日 9時	<ul style="list-style-type: none"> 1 インフルエンザ予防接種について 2 福祉のつどいについて 3 社会福祉大会について 4 交通安全講習会について 5 各事業所からの報告事項等について
7	平成28年12月15日 9時	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成28年度決算見込み及び平成29年度予算案について 2 平成29年度予算案のヒアリング日程の確認について 3 有期雇用職員の意思確認について 4 新・総合事業の事業者指定申請について 5 介護保険課の管理者採用について 6 事業所からの報告事項等について
8	平成29年3月14日 13時30分	<ul style="list-style-type: none"> 1 事務連絡・居宅サービス事業の改善等について 2 事業所からの報告事項等について

2) 通所介護事業管理者会議

回	開催日時	議題
1	平成28年4月15日 18時	<ul style="list-style-type: none"> 1 第1期地域福祉活動計画の推進について 2 介護保険等事業の円滑な運営について 3 法人創立10周年社会福祉大会の開催について 4 社会福祉改正への対応について 5 各事業所からの報告事項等について
2	平成28年5月13日 18時	<ul style="list-style-type: none"> 1 役員改選について 2 介護事故発生について 3 各事業所からの報告について
3	平成28年6月15日 18時	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成28年度健康診断について 2 特別休暇について 3 一時金（処遇改善）について 4 交通事故について 5 7月1日付で役員改選について 6 「桜の園」正規職員募集について 7 平成29年度総合事業について 8 各事業所からの報告について
4	平成28年7月17日 18時	<ul style="list-style-type: none"> 1 新たなデイづくりについて 2 シナプソロジー研修への参加について 3 認知症カフェについて 4 事業所からの報告事項について
5	平成28年9月15日 18時	<ul style="list-style-type: none"> 1 固定資産調査の協力依頼について 2 飯塚市部落解放研修集会の参加要請について

		3 振替休日（時間）取得手続きの統一について 4 各事業所からの報告について
6	平成28年10月13日 18時	1 各事業所からの報告事項等について 2 インフルエンザの予防接種について 3 安全運転講習会について 4 創立10周年記念社会福祉大会について
7	平成29年3月23日 18時30分	1 契約書（重要事項説明書）の作成について 2 予防と総合支援の違いについて 3 2月の実地指導での指摘/指導事項の情報共有について 4 定款、契約書等の変更について

3) 訪問介護事業管理者会議

回	開催日時	議題
1	平成28年4月14日 13時30分	1 平成28年度 事業計画書について 2 合併10周年記念福祉大会について 3 決算と理事改選について 4 各事業所からの報告事項について
2	平成28年5月17日 9時	1 各事業所からの報告事項について 2 決算について 3 集団指導について 4 今年度の訪問介護事業方針について
3	平成28年6月17日 9時	1 健康診断について 2 夏季休暇について 3 交通事故について 4 平成29年度からの総合事業について 5 各事業所からの報告事項について
4	平成28年7月15日 9時	1 各事業所からの報告事項について 2 登録ヘルパーの交通費について 3 通所の減収について 4 総合事業の説明会について
5	平成28年9月15日 9時	1 固定資産調査の協力依頼について 2 飯塚市部落解放研究集会の参加要請について 3 正規職員募集について 4 認知症の損害賠償問題について 5 安全運転講習会について 6 各事業所からの報告事項について
6	平成28年10月13日 13時30分	1 インフルエンザ予防接種について 2 健康・福祉のつどいについて 3 社会福祉大会について 4 交通安全講習会について 5 各事業所からの報告事項等について
7	平成29年3月7日 13時30分	1 総合事業について

(9) 人権・同和研修会

回	開催日時	会場	内容	参加職員数
1	平成28年7月21日 19時00分	穂波公民館	「防災と人権」	178名

(10) 安全運転講習会

回	開催日時	会場	内容	参加職員数
1	平成28年10月21日 19時00分	穂波公民館	基本を大切にする運転	175名